佐賀西高だより

URL https://www.education.saga.jp/hp/saganishikoukou/

学校だより第145号
令和８年１０月２９日
佐賀西高等学校
佐賀市城内一丁目４番２５号
電話番号(0952)24－4331
発行・編集　総務部

1日目　前夜祭（ファイヤーストーム）

長年受け継がれてきた我が校伝統の「炎嵐（ファイヤーストーム）」。男子生徒が全１５曲を全力で歌い、踊り尽くすこの熱狂の夜は、西高祭には欠かせない一幕です。今年も燃え盛る炎と雄々しく響き渡る歌声が、西高祭の幕開けを飾りました。


生徒を迎えるリーダーたち


櫓（やぐら）上で開幕を宣言する委員長



炎を囲む生徒たち


３年生にとっては最後の炎嵐


歌も踊りも全力で

2日目　文化祭

文化部による日ごろの活動の成果発表をはじめ、歌・バンド・ダンスなど多彩なフェスティバル発表が会場を盛り上げました。また、団展示やクラス展示に加え、今年から新たに２年生による模擬店も登場し、例年以上の賑わいを見せました。


書道部のパフォーマンスでスタート


吹奏楽部の演奏


演劇部が魅せた「きのたけ戦争」


団展示はいずれも力作ばかり


フェスティバル会場は熱狂に包まれました



個性あふれるＴシャツで団結



新たな試みである模擬店も大盛況


縁の下で文化祭を支えた生徒会

3日目　体育祭

今年は初の屋内開催となり、ＳＡＧＡプラザを舞台に体育祭が行われました。新会場に合わせて生徒会が競技を１から見直し、新たな形での体育祭が実現しました。赤・青・白の３団に分かれた生徒達は、３年生を中心に団結力を発揮。屯所応援や女子応援、こだわりの衣装に団幕など、各団・各生徒の個性と情熱がぶつかり合う白熱の体育祭となりました。


各団長による選手宣誓


ぐるぐるバット

工夫を凝らした新競技


大脱走


ローハイド


青団

華やかな女子応援


白団


赤団

全員参加屯所応援


青団


赤団


白団

テーマ

「黎明（れいめい）」

長い夜が明け、新しい朝の光が差し込む夜明けの時を意味します。それは単なる朝の訪れではなく、希望に満ちた未来への第一歩であり、新しい時代や挑戦の始まりを象徴する言葉でもあります。

第62回
西高祭
令和８年９月７日～９月９日

佐賀西高校創立150周年記念事業

令和８年１０月１０日

記念式典

佐賀市ミズウェルビーホールにて、佐賀西高校創立１５０周年記念式典が挙行されました。全校生徒・教職員をはじめ、同窓生や教育関係者など約１０００名が参加しました。

井原校長は式辞で、先人の志と努力が本校の礎であることを強調し、「志高く主体的に学び、互いに挑戦し続けることがさらなる飛躍につながる」と述べました。



学校長式辞



生徒代表の言葉

生徒代表として前期生徒会長の竹下さんが「変化の激しい時代をたくましく生き、世界や日本を支える人材を目指す」と力強く決意を表明しました。



在校生による校歌斉唱

在校生・同窓生が「栄城」の歴史と伝統を振り返り、次の５０年へ向けたさらなる発展を誓い合う、節目にふさわしい式典となりました。

感謝状・記念品贈呈

歴代校長への感謝状・記念品贈呈が行われ、本校の歴史を支えてきた先人の功績が改めて称えられました。



６名の歴代校長先生

記念講演

記念式典に続き、本校同窓生でＮＨＫエグゼクティブアナウンサーの内山俊哉氏による記念講演が行われました。「勝負を伝える舞台裏」と題し、学生時代のエピソードやアナウンサーとしての歩み、仕事への向き合い方など、第一線で活躍し続けるプロならではのお話をいただきました。



後輩たちに向け熱く語る内山氏



話に聞き入る生徒

西高生に向けたメッセージには生徒たちも興味津々の様子で聞き入り、質疑応答では会場が大いに盛り上がりました。１５０周年という節目の日に、西高を飛び立ち世界で活躍する先輩から、次世代を担う後輩たちへと確かなバトンが渡されました。